

# 会 議 録

会議名	第1回八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会	日時	令和5年7月4日（火） 14:30～16:00
次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長挨拶 4 会長及び副会長の選任 5 議事 (1) 八戸市地域スポーツ文化活動検討協議会の概要について (2) 今後の進め方について (3) 当市における実施内容案について 6 閉会	場所	八戸市庁本館3階 第二委員会室
概 要			
進 行	<p>ただ今から、第1回八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会を開催いたします。会議に先立ちまして、委員になられる方々に委嘱状の交付を行います。お名前が呼ばれましたら、その場でご起立ください。委嘱状が交付されましたらご着席ください。</p> <p>（委嘱状交付）</p> <p>続きまして、教育長からご挨拶申し上げます。</p>		
教育長	<p>皆さん、こんにちは。教育長の齋藤でございます。開会にあたり一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>まずは、皆様には、本協議会の委員をご快諾いただき、心より感謝申し上げます。お引き受けいただいた11名の皆様は、当市の学校教育及びスポーツ、文化活動に高い知見をお持ちの方々であり、私といたしましても大変心強く感じているところであります。</p> <p>さて、中学校の休日における地域移行が叫ばれて久しいわけではあります。この4月から、私なりに全国の状況を少々集めてみました。その一端をご紹介しますと、都市部を除き、地方の自治体においては、いずれも受け皿や指導者の確保に苦慮しているという共通の課題を抱えていることがわかりました。</p> <p>また、意見交換では、現段階では国が示した移行期間ではなかなか実現が不可能と答えた自治体もございます。さらには、学校の働き方改革の1つの手段として、地域移行があるやに報道されていますが、主語は子ども達に置くべきではないのか、そういったご意見もありました。各自治体によって様々な事情があるということが伺われます。</p> <p>先日の市議会においてもお話をさせていただきましたが、中学校の部活動は、生徒の自主性、責任感、向上心、自己肯定感等の人間形成の場であるとともに、仲間と取り組むことによる信頼感、一体感等人間関係の構築にも非常に有意義な場として考えられま</p>		

す。しかしながら、現状では、深刻な少子化が進む中、学校単位でのチームを組むことができなくなっている、生徒の多様なニーズに応じた活動の選択肢を確保できなくなっているなどの課題が生じてきております。このような状況を踏まえ、生徒1人1人が希望するスポーツや文化活動により親しむ環境作りを目指すことが、地域移行の最大の目的であると捉えております。

本協議会では、中学校部活動の円滑な地域移行に向け、本市における新たな地域スポーツ文化活動の環境作りについて調査研究をお願いするものであり、その検討結果を、仮称ではありますが、八市地域スポーツ文化活動推進プランとして教育委員会に諮問していただくこととしております。

なお、今後の話し合いにあたっては、まずは次の3点について市教委といたしまして検討を要するものと考えております。

まず1点目は、生徒、保護者、教職員の実態把握に関する調査についてであります。新たなスポーツ・文化活動への円滑な移行を図るためには、まずは当事者である生徒、保護者及び教職員の地域移行に係るニーズ等の状況を把握することが必要と考えます。なお、調査を行うにあたっては、地域移行の賛否を問うものとならないよう、何卒ご配慮をお願いしたいと思います。

2点目は、新たなスポーツ・文化活動の受け皿となる運営団体の理解と指導者の確保の工夫についてであります。特に指導者の確保については、本市におきましては大きな課題ではありますが、保護者や指導者を希望する教職員に加え、地元の大学生の活用も視野に入れてはどうかと考えております。

3点目は、保護者負担のあり方についてであります。地域移行した場合、活動にかかる経費に加えて、移動経費等についても検討しなければならないと考えます。全て受益者負担とするのか、一部は市が補助するべきなのかなど、様々な視点にたって、どのようなあり方が望ましいのか、ご検討いただきたいと思います。

どうぞ委員の皆様には、本市の実情に即した八戸バージョンの地域移行のあり方を提案していただければと考えております。それでは、今後、長丁場となりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

進 行

ありがとうございました。

続きまして、会長の選任に入らせていただきます。本日配布いたしました「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会規則」をご覧ください。規則第4条第1項には、「協議会に、会長及び副会長各1人を置く。」と規定されております。また、4条第2項において、「会長及び副会長は、委員の互選によって定める。」と規定されております。また、第5条第1項において「新たに委員の委嘱が行われた後、最初に召集すべき協議会の会長の職務は、教育長が行う。」と規定されておりますので、会長及び副会長が選任されるまでの間、議事の進行につきましては、仮議長として教育長をお願いいたします。それでは、教育長、お願いいたします。

教育長	<p>それでは、着座にて進行を務めさせていただきます。会長及び副会長が決まるまでの間、議長を務めさせていただきます。委員の皆様には、ご協力のほどよろしくお願いいたします。会長及び副会長につきましては、八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会規則第4条第2項の規定に基づき、委員の互選によると定められております。どなたか、選出についてご意見はありませんか。</p>
●●委員	<p>はい。会長につきましては、学識経験者であり、他の附属機関での委員経験をお持ちの木村委員が、適任であると思います。副会長につきましては、本協議会は中学校部活動の今後のあり方を検討するという性質のもので、中学校長会を代表する佐々木委員が適任であると思います。以上です。</p>
教育長	<p>●●委員から会長に木村議員を、副会長に佐々木委員を推薦するご提案がありました。が、いかがでしょうか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>ご異議がないようですので、木村委員、佐々木委員、よろしいでしょうか。</p> <p>(木村委員、佐々木委員、承諾。)</p>
教育長	<p>ありがとうございます。それでは、会長につきましては木村委員、副会長につきましては佐々木委員にお願いしたいと思います。</p> <p>会長、副会長が決まりましたので、私は仮議長としての任務を終わらせていただきます。ご協力ありがとうございます。</p>
進行	<p>ありがとうございました。それでは、木村会長からご挨拶をいただきたいと思います。木村会長、お願いいたします。</p>
木村会長	<p>皆さん、こんにちは。ただいま会長を拝命いたしました、木村です。中学校に入学した子供たちに学校生活の抱負を聞きますと、多くの子供から、勉強と部活を頑張る、または、文武両道を表すような言葉が返ってきます。このように、部活動に対し、子ども達がいかに期待感を持っているかを感じるものであります。</p> <p>しかし、昨今の部活動を取り巻く環境は、社会の大きな変化の中で、目まぐるしく変わりつつあります。本日お集まりの当委員会との話し合いでは、多角的視点がキーワードになると思います。日頃から学校現場で生徒の様子を見てくださってる先生方、家庭で夕食を囲みながら部活動の話を聞き、子どもの健やかな成長を願っている保護者の方、休日返上で文化活動やスポーツの普及に努めていらっしゃる当該教科の方。以上のように、子どもを地域の宝として見守っている地域の皆様の色々な視点から、こうすれ</p>

	<p>ば八戸地域の子どもたちが夢や希望を持って毎日を送れるという忌憚のないご意見を出していただければ幸いです。よろしく願いいたします。</p>
進行	<p>ありがとうございました。続きまして、佐々木副会長から一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。佐々木副会長、願ひします。</p>
佐々木副会長	<p>ただいま副会長を拝命いたしました、佐々木と申します。よろしく願ひします。今、会長のお話にもありましたが、多角的視点というのは本当に大切だと思ひていますが、まずは、生徒がどうして行くのがいいのかという生徒の思ひ、それから、その生徒の指導にあたっている教員も、今、この地域移行に関しては、本当に何がどうなっているのかが見えていない状況の中で、それでもできることを一生懸命やっております。そういった教員の声、現場の声も上げながら、将来的にはどうして行くのがいいのか、皆様のお力を借りながら進めていければと思ひます。どうぞご協力のほどよろしく願ひいたします。</p>
進 行	<p>ありがとうございました。なお、教育長は次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。ここで会場準備のため5分程度の休憩を取らせていただきます。時間になりましたら、着席をお願いいたします。それでは、休憩に入ります。</p> <p>(休憩)</p>
進 行	<p>では、ここで、本日ご出席の検討協議会委員の皆様、並びに市事務局の主な職員をご紹介します。</p> <p>(委員及び事務局員の紹介)</p> <p>最後に、本日、司会進行役を務めさせていただいております、学校教育課経営支援グループリーダーの後藤です。どうぞよろしく願ひいたします。</p> <p>それでは、会議の議長は会長をお願いいたします。よろしく願ひします。</p>
木村会長	<p>それでは、早速 議事審議に入らせていただきます。審議は八戸市附属機関の設置及び運営に関する要綱及び附属機関の会議の公開等に関する取扱いに基づき、原則公開することとされております。本議事審議を公開してよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p>
委員一同 木村会長	<p>次第に沿って進めたいと思ひます。委員の皆様には、ご協力よろしく願ひいたします。</p>

まず、(1)「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会の概要について」、事務局から説明願います。

事務局

教育委員会学校教育課の戸末と申します。八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会の概要につきましては、私からの説明とさせていただきます。

お手元の資料1「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会規則」に記載のあるとおり、職務については、中学校部活動の円滑な地域移行に向けた新たな地域スポーツ・文化活動の環境の整備に関し必要な事項について調査及び検討をし、教育委員会に対して意見を述べること、とされております。この背景にある、国の動向、県の取組について確認してまいります。資料2「八戸市地域スポーツ・文化活動推進プラン案の策定に向けて」の冊子1ページ～5ページになります。

国は、現在の学校部活動が抱える課題の解消を図るため、これまで学校単位で行ってきた部活動を地域単位で行えるよう、まずは休日の部活動から段階的に地域移行していく方針を示しております。また、令和4年12月には、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の中で、少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要があること、また、部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備するとともに、地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要であることを示しております。

県においては、本年4月、「青森県公立中学校における休日の部活動の地域移行推進計画」を策定しており、地域で子どもたちを育てる体制を構築した上で、休日の部活動の地域移行を推進していくことを示しております。なお、県の推進計画につきましては、別冊（参考資料）を添付しておりますので御参照いただきたいと思います。

これらを踏まえ、当市の状況について確認してまいります。資料2「八戸市地域スポーツ・文化活動推進プラン案の策定に向けて」の冊子6ページ～8ページ、特に8ページのところになります。

当市においても、中学校の部活動をめぐっては、生徒数の減少に伴い学校単独でのチームを組むことができなくなってきたり、生徒の多様なニーズに応じた活動の選択肢を確保できなくなってきたり、教員に競技等の経験がなく専門的な指導が難しい場合がある、といった全国と同様の課題が生じてきております。そこで、少子化の中でも将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、当市の実情に適した新たなスポーツ・文化活動環境を整備する必要があることから、本協議会の設置にいたったものであります。

本協議会においては、「(仮称)八戸市地域スポーツ・文化活動推進プラン」を策定し、子どもたちが継続してスポーツや文化活動に親しむ機会を確保するとともに、生涯にわたって取り組むための素地を培うことができるよう、新たなスポーツ・文化活動の環境

木村会長	<p>について協議し、提言していただくことを想定しております。</p> <p>(1) 八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会の概要については以上であります。</p> <p>ありがとうございました。ただいまの説明に対し、御質問等ございませんか。また、御要望、御提言等、なんでも結構ですのでございましたら発言願います。</p> <p>無いようですので、次の案件に移ります。(2)「今後の進め方について」事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>ここからの協議に先立って、まず、会議録の作成・公開についてお諮りいたします。</p> <p>本協議会は、八戸市附属機関の設置及び運営に関する要綱及び附属機関の会議の公開等に関する取扱いに基づき、会議を原則公開することに加え、会議録等を作成・公開することとされております。会議録等の公開につきましては、市ホームページ上で公開したいと考えております。また、会議録の確定方法ですが、会長が確認することにより確定することとしたいと考えております。以上の提案内容について、先にお諮りいたします。</p>
木村会長	<p>ただいま説明がありましたが、これにつきましてご意見ご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>無いようですので、事務局提案のとおりといたします。</p> <p>続けて、再び事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>続けて、今後の進め方として、当市における検討スケジュール案について説明いたします。資料2「八戸市地域スポーツ・文化活動推進プラン案の策定に向けて」の冊子9ページ～16ページをご覧ください。</p> <p>国は令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間と位置付けて支援を行うこととしております。当市においては、まず、資料9ページに記載のありますとおり、令和4年度において、市教育委員会及び市まちづくり文化スポーツ部による庁内連絡会議を開催し、課題認識の共有を図るとともに、新たなスポーツ・文化活動の環境の大枠についての検討を進めております。内容につきましては、次の議事のところで説明させていただきます。また、児童生徒、保護者宛てリーフレットを発出しており、国の方針や当市における検討スケジュール等について周知を図っております。</p> <p>資料の10ページ～を御覧ください。当市における今後の検討スケジュール案であります。なお、このスケジュールにつきましては、本協議会における検討状況、進捗状況を踏まえ必要に応じて見直ししながら進めていくことを想定しております。</p> <p>まず今年度であります令和5年度につきましては、本日を含めて本協議会を4回開催する予定であります。その中では主に、児童生徒及び保護者のニーズの把握、新たな運営主体となる団体についての検討、指導者の確保のための方策の検討等を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>令和6年度につきましては、本協議会を3回程度開催する予定であり、新たな運営団</p>

体がその運営を円滑に進めるための方策の検討や保護者負担の在り方の検討を進めるとともに、本協議会から市教育委員会へ「(仮称) 八戸市地域スポーツ・文化活動推進プラン案」を提言することを想定しております。なお、市では、この推進プラン案の提言を受け、今後の方針を推進プランとして決定し公表する予定であります。

令和7年度からは、新たなスポーツ・文化活動の環境へ移行可能な団体・種目等から順次移行していくことを想定しており、移行後の諸課題の洗い出し及び対応策の検討を進めていきたいと考えております。

(2) 今後の進め方については以上であります。

ただいまの説明に対し、御意見・御質問等ございませんでしょうか。

木村会長

無いようですので、次の案件に移ります。(3)「当市における実施内容案について」、事務局から説明お願いいたします。

事務局

当市における実施内容案について説明いたします。資料2「八戸市地域スポーツ・文化活動推進プラン案の策定に向けて」の冊子17ページ～23ページになります。

事務局では昨年度、休日の中学校部活動の円滑な地域移行に向けた本協議会における検討を進めるにあたり、課題の整理と検討のたたき台となる案の検討を進めてまいりました。これより、挙げられた課題と各課題の解消に向け検討いただきたい内容について説明させていただきます。大きな課題として挙げられたのは次の6点であります。

1点目は、資料の17ページ～記載のある、運営主体の整備であります。新たな地域スポーツ・文化活動環境における個々の活動の運営を学校以外の団体が担うことを想定した場合、その担い手、受け皿となり得る組織・団体をどのように確保、整備していくか、という課題であります。これについては、後ほど改めて説明させていただきます。

2点目は、資料の22ページに記載のある、指導者の確保であります。これについては、次のことについて具体化の検討が必要であると考えております。

地域スポーツ・文化活動の指導を担う新たな人材確保のための方策の検討を進めること。

指導を希望する教員の兼職兼業の規定や運用の在り方を整理するとともに、許可の手續の円滑化を文部科学省の手引きに準じて進めること。

兼職兼業の許可にあたり、教員本人の意思を十分に確認、尊重すること、勤務校等における業務への影響の有無、教員の健康への配慮、勤務時間の状況、学校運営に支障がないこと等を勘案して判断するための考え方を整理すること。

平日の学校部活動における部活動指導員や外部指導者が、休日の地域における指導者を兼ねることができるよう体制を整備すること。

地域の大学等との連携を進めること。であります。

3点目は、スポーツ・文化施設の確保であります。これについては、活動に要する用具の保管の在り方を含め、新たな地域スポーツ・文化活動の運営団体が学校施設等を適切に利用できるようにするための具体策の検討が必要であると考えております。

4点目は、保護者負担の在り方の検討であります。これについては、経済的に困窮する家庭に対する、生徒の活動参加費用の支援や施設使用料の支援の可否、送迎面への配慮等についての検討となります。

5点目は、資料の23ページに記載のある、大会・コンクール等への参加の在り方、平日の学校部活動との兼ね合いの検討であります。これについては、大会を主催する各団体と参加資格についての情報共有を進めながら、必要に応じて参加資格の見直しを求めることの検討や、学校部活動と新たな地域スポーツ・文化活動の連携の在り方についての検討となります。

6点目は、本協議会における取組の周知であります。これについては、本協議会における検討内容等、検討段階から市ホームページ等を活用して市民へ適切に情報を発信していくことを考えております。

資料は17ページにお戻りください。1点目、運営主体の整備について改めて説明させていただきます。

新たな運営主体の整備に向け、事務局では、検討のたたき台として、資料記載のとおり、4つのモデルについて実現可能性を探ってまいりました。モデルⅠは、各学校単位でPTA等が中心になり運営組織を設置するもの、モデルⅡは総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、クラブチーム、文化芸術団体、民間事業者等が運営を担うもの、モデルⅢは競技・文化種目単位で運営組織を設置するもの、モデルⅣは複数の中学校区を1つのブロックとした運営組織を新たに設置するものであります。

これらの4つのモデルのメリット、デメリット、また関連する意見として挙げられたものが資料17ページから20ページに記載のものとなります。それぞれの案にメリットはあるものの、本協議会が設置されるに至った背景や趣旨、実現可能性、そして子どもたちのニーズに応える形となるような環境を構築していくこと等を考慮すると、各地域、各種目で一律に進めることは難しいのではないかと考えております。

そこで、資料21ページの枠内に記載させていただきましたが、次のような運営の在り方、運営主体を想定して今後の協議を進めることを提案させていただきたいと考えております。

基本的には、総合型地域スポーツクラブ、クラブチーム等既存のスポーツ・文化活動資源を活かした移行を進めていくこととし、運営準備が整った団体への移行を順次進め、市内全域に広げていくことを想定します。その際、資料の20ページに記載のあるようなスポーツクラブバンクやアートプラットフォームの仕組みを活用するとともに、ダンス、総合格闘技、書道、外国語、ボランティアといった多様な活動ができる団体等も含めて広く周知し、市として生徒の活躍の場を拡充していくこと。

しかし、既存のスポーツ・文化活動資源では十分な受入ができないことが想定されることから、当面の間の措置については、今後、本協議会で協議していくこととなります。これらは、今後の検討、協議の大きな方向性として提案させていただくものであります。委員の皆様から様々な御意見を頂戴したいと考えております。以上お諮りいたします。

木村会長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明に対しご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
●●委員	<p>22 ページ保護者負担の在り方の検討のところなのですが、私の個人的な考えとすれば、この地域移行自体が学校教育の延長線というような意味合いが強いのか、それとも学校教育とは切り離して、最終的には子どもたちの余暇活動であったり、才能を活かすという分野のほうに進んでいくのかという基本的なところが第一に定められなければいけないと思っているのですが、この地域移行を学校教育の一環として進めるのであれば、この保護者負担の在り方について、休日に他のクラブで活動している時の保険や施設料は、公費負担の色合いが濃くなってくるのではないかと考えています。</p> <p>その中で、子どもを健全に成長させていくために、国も県も市も予算を振り分けているところだと思いますが、この経済的困窮家庭に対するという条件が書いてあるのですが、これは一見良さそうにも見えるのですが、親の経済状況によって子どもが区別されるという状況は、あまり良くないと思っていまして、子どもは押し並べて同じような支援を受けるべきではないかと考えています。</p> <p>例えば給食費も、経済的困窮家庭の子どもが、どうしてもお金の徴収や色々な手続きの中で浮き彫りにされているような状況があると思いますが、今までは学校の中でだけそういう情報があったと思うのですが、今後は地域の任意団体の方たちも、子どもの家庭状況を知ってしまうという危険が出てくるというところがあると思います。そのあたりを考えても、経済的困窮家庭に対する子だけを支援するというのは、危険が高いのではないかと考えていますので、こういった家庭に限らず、押し並べて子どもを支援するべきではないかと考えています。以上です。</p> <p>●●委員から質問・意見等ありましたが、事務局よろしいでしょうか。</p>
木村会長	
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘の通りかと思っております。この辺の考え方については改めて今後協議を重ねていきながら、考え方の整理が必要であろうと思っております。以上です。</p>
木村会長	<p>考え方の中では、学校教育の延長と余暇活動という大きな枠のほかに、細かいところでは経済的負担に関して困窮家庭のみの支援でなく、多くの子どもにというところがありました。この点についてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>考え方の部分を委員の皆様からご意見いただければありがたいと思っておりました。</p>
木村会長	<p>今の経済的負担のことにつきまして、皆様からのご意見をいただければということですが、●●委員の他にこの件につきまして、どうでしょうか。</p> <p>スポーツ活動等としていきますと、その会場借り上げの経費等が発生してくるわけで</p>

して、その負担を各子ども達に求めていくと、どうしても経済的負担が厳しいという家庭が出てくると思います。そのあたりの支援について何か意見がありましたら。

●●委員

当然学校の施設開放等の利用と公共施設を使うことによって、金額的な問題が出てくると思うのですよ。地域移行にした時に、限られた施設をどう活用していくかというところも大きな課題になってくると思いますので、●●委員から出たように、生徒負担というところを鑑みれば、一律その子ども達だけの負担での活動というのは中々難しくなっていくのかなと。いわゆる公共的な支援がなければやりたいものも出来ないという子ども達が出てくると、子ども達を取り残されるということも考えられてくるのではないかなと思いました。

木村会長

ありがとうございます。意見を決定とするものではありませんので、みなさんごんごんこういう風な考え方があります、というような形で出していただければと思います。

●●委員

小学校では、今の保護者負担ということと、実はこの運営主体というのが大きく関わってくるかなというところがあります。

1つは、例えば学校単位での組織になると、ある程度は保護者の、学校とかそういった意味での負担で済むものになりますし、クラブ化すると自分達で今の施設を借りるお金ももう少し掛かるというものもありますし、本当の競技をしっかりとすると、塾的なもので結構お金が掛かるということで、組織の作り方とか、種目によって違うかもしれませんが、それによって保護者の負担がかなり変わってくるのではないかと感じています。

なので、それぞれに対して市で補助があるものなのか、それぞれでやるものだから、それぞれで払っていくという動きになっていくものなのか、主体とも関わって考えていかなければならないのかと感じていました。

木村会長

ありがとうございます。他、いかがでしょうか。●●委員からもう少しこの点について、意見をいただきたいというようなところはありますでしょうか。

●●委員

意見を伺うというか、これから皆さんで話し合うことなのでしょうが、私としてはやはり先生には地域移行に関わっていただきたいと思っています。先生が入っていない任意団体だけで本当に信頼して子どもを任せられるかということ、ある団体は知っている方が多くいていいかもしれないけど、学校がある程度フリーハンドで信頼できる場所だと思うのですが、任意団体にお任せするという時に、本当に安心して預けられるかというのは、保護者としては不安に思うところがあるのではないかと感じてまして、資料にもあったと思うのですが、教育委員会や市町村が主導的に受け皿を作っていたのが本当は良いなと思っていたのですが、21 ページの資料だと、既存のスポーツクラブなどの民間団体、任意団体を受け皿として基本的に考えているところがあったので、そ

のあたり学校とどう連携をとっていくのかなと思いました。

なので、先生があまり入らないというところから、先ほどの子どもの家庭状況というのが、そういう教育を受けていない方たちに情報として渡って、それが他の子どもたちに伝わってしまう危険性が高くなるのではないかと考えています。ですので、経済的困窮者に対する補助だけをしてしまうと、そういう子どもが浮き彫りになってしまうのではないかと考えて、そういう意見を出させていただきました。

なので、学校の校庭を使うとかあまり負担がかからないやり方が当然あると思いますし、スポーツ団体が地域移行に関連した活動をする時だけは市が減免してくれるとか、そういった施策で負担は低くなっていくとは思いますが。それよりも子どもの家庭環境が暴露されるような状況は作るべきではないと思っています。

木村会長

個人情報の保護に留意した上で、活動地域を応援というふうを受け止めて参りたいと思います。その他、ご質問等ありませんでしょうか。●●委員とは別な形での質問がありましたら、お願いいたします。

無いようですので、次の案件に移ります。続けて、事務局から説明をお願いいたします。

事務局

続けて、早速ではありますが、児童生徒及び保護者のニーズを把握するとともに、本協議会における今後の参考資料としていくため、本協議会からのアンケートの実施を提案させていただきます。資料3「当市における休日の中学校部活動の地域移行に係るアンケートについて（依頼）」というものになります。

アンケートの対象は、市立小・中学校に在籍する小5、小6、中1の児童生徒及びその保護者を想定しております。これは、現段階で新たな地域スポーツ・文化活動環境への移行開始を想定している令和7年度に中学生となる学年を対象として設定したものであります。内容は、休日の地域における活動への参加希望の有無、希望する種目、活動内容等となります。

また、併せて、市立中学校教職員へのアンケートについても提案させていただきます。これは、指導者の確保のための方策として、指導を希望する教職員による指導も想定していることによるものであります。

アンケートの結果については、次回協議会において提示するとともに、市ホームページ上で公表することを想定しております。以上お諮りいたします。

木村会長

ただ今アンケートの説明がありました。これにつきまして、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。アンケートは児童生徒及び保護者用というものと、教職員用というものがありますので、もし質問・ご意見ある場合は、どちらについてというかたちでお話をさせていただければと思います。

すいません。自分がイメージをちゃんと持てていなくて。ちょっと教えていただけれ

●●委員

ばと思うのですけれども。

この質問の一番初めに、「休日にこれまでのような学校の部活動が行われたいものとして回答してください。」というふうになっています。自分のイメージでこれを書こうとすると、部活は無いけれども、土日には自分の部活の延長として同じものをやれると受け取ったのですが、自分はバスケット部で平日練習をしていて、土日は指導者だけ代わって、自分の部活をやれるというようなイメージで、子ども達を書いてしまうのではないかと思います。ここで答えるのは、自分の部活の延長で指導者が代わるというのではなくて、部活の延長で指導者が違うのではなく、土日だけその地域でやっている全く違うバスケットの活動があったら参加しますかというようなことを聞いているのかなというのが、ちょっと分かっていなくて。1つは部活の延長として指導者だけが代わって、その中学校の部活に参加しますかという意味のものなのか、平日は平日で部活はやるけれども、土日は全く別の地域で今作ろうとしているものに参加しますかというものなのか、自分はどっちで答えるか、子どもならどっちで答えるかというのが、その辺何か書く必要があるのかなというのを感じました。

ただ今の質問につきまして、事務局お願いいたします。

木村会長

事務局

想定していたのは、平日の学校の部活動の延長ではなくて、全く別の新しい活動への参加を想定していたものであります。ただ、ご指摘いただいたようなところも疑問に思うところもあるかと思いますので、表現等については検討したいと思います。

他に質問等は。

木村会長

●●委員

アンケートを純粹に自分が書く立場として考えた時に、地域における地域というのはどこからどこを指すのか。子どもから言わせると、地域は学区なのか、それとも八戸市内なのか。あとはどんなところの子どもたちと一緒に活動するのか。どんな人が監督やコーチとして来るのかとか、イメージは結局分からないのではないかなと思いました。説明しながら書かせたとしても、理解できないお子さんとか多い場合、分かりにくいかなと。実態把握する上では分かりにくいのかなというふうに思います。

事務局お願いいたします。

木村会長

事務局

想定しているのが、学校からすごく離れた競技等においては市内全域を表現するようなものもあるかと思います。学区だけではなく考えていただくことを想定しております。そのような考え方でやってよろしいかということを皆様から意見を伺えたらと思っていました。

これは事務局の補足という形で皆様からお諮りしたいと思っておりました。事務局の方からは、休日に行われる活動に関しては、学校で行う学校の部活動としては考えてい

ないという形で事務局としては捉えているのですが、こういう考え方で皆様よろしいでしょうかというのをお諮りしたいと思っておりました。

あと、もう一つ、地域の捉え方につきましても、皆様からこう思うというお話をいただいて、考え方を共有というか、すり合わせ出来れば良いかなと思っていましたので、その辺りご意見を頂戴できればありがたいなと思っております。

木村会長

まず最初に●●委員からの質問の中で、学校の延長というのと、全く別の団体やクラブのような形ということで、回答するのにどのようなイメージでということがあったのですが、事務局の方では別団体あるいはクラブ、別組織ということ想定している。これについて、アンケートをとる上での想定されたイメージ、これで良いか、別なものがあるか、意見を出していただきたいと思います。いかがでしょうか。

●●委員

ちょっと質問というか、別段、私は部活動の延長線上だと思っていましたので、先ほどのようなご意見と同じような感じだとずっと捉えてはいたのですが、別団体となると塾みたいなイメージなのだったらいいと思うのですが、結局指導者がバラバラになってしまって、子どもが困るのではないかと思います。

さっき言ったように、私は野球をやっていましたが、野球のバッティングだけを向上させたくて、土日そこに技術の向上のための塾として行くっていうのであれば、なんとなく分かるし、いいかもしれないのですが、子どもとしては部活が中心でやっていくので、平日は学校の先生から教えてもらって、土日は別のクラブチームとして参加するとなると、そのクラブで大会に出ることになってしまうと、指導方針が異なってくると思うので、そうなるが一番子どもが非常に不安定な状況におかれると思います。

ですので、私は元々部活動の延長で先生もその地域、この受け皿に入ってというのがいいと思っていたので、そういう話ではないというお話でしたので、前提が崩れたという気もしていました。

となると、本当に学校の先生は関与しないと書いてもらわないと、答える側もみんなどういうイメージで回答していくのかで分析ができないのではないですか。

木村会長

回答する側がどのようなイメージを持ってこれに回答するかということなのですが、いかがでしょうか。事務局の方で文面等でわかりやすいような表現をするということについては。

●●委員

学校の部活動というのが、中学校はイメージを捉えることができると思うのですが。ただ小学校は、もうスポーツ少年団になって学区を離れて活動している中で、学校の部活動は行わないっていうのが、小学生の子どもたちが答えるのにはどうなのかな。学区を離れてそれぞれのスポ少の団体で活動しているので、中1の子たちは本当に部活動であったり、クラブ活動に通っている子たちはそれなりに答えられると思います。

●●委員	<p>質問良いですか。これは小学校5、6年と中1に関しては回答はどこでするっていう想定ですか。たぶんタブレットを使ってやることになると思うのですが、自分で家に持ち帰って保護者と一緒にやるのか、学校で先生の説明を聞きながら回答するのか。それによっても答え方というか児童生徒の捉えが変わってくると思うので、もしどちらの場合にしても、もうちょっと説明をして、説明するものがないと文言もそうだし、イメージとしても特に小学校5、6年生はわかりにくいのではないかなと。</p>
木村会長	<p>問3の「休日の地域における活動に参加したいと思いますか」と聞かれて、地域における活動の下を読めばわかるのですが、何をやっているか、でも地域における活動って何ってなったときに説明をしないと答えにくい質問だなと思っていました。</p> <p>あとは小学校の5、6年生でスポ少にも何も入っていない子もいますよね。実際習い事もやっていない子もいるので、そういった子たちのことも考えると、少し答えにくいな。中1もちょっと答えにくいかなと。今やっている部活ができなくなって、僕たちはどうすればいいんだろうと捉えてしまう生徒もいて、何をどう答えて良いのか、ばふっとしてよく分からないという感じでした。</p> <p>親御さんへの質問が、とにかく金銭的な負担、経済的な負担というところで質問しているのですが、休日のというところが1枚目の依頼文をきちんと読んで答えてくだされば何とかなるかもしれないですけども、1枚目の依頼文の小中学生のやつもそうだし、文言も入っているので、例えば学校で一斉にやる、その際に教員が一言付け加えながら回答させていくとか、そういったやり方をしていかないと、検証できるデータとしてはちょっとどうかなと思いますので、そこをご検討いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今の質問の中で回答をする場所を、生徒の横に先生が居ると保護者が居るのでは違ってくるのかなと思うのですが、このあたりはいかがでしょうか。事務局お願いします。</p> <p>はい、アンケートの回答方法として想定していたのは各家庭において、親御さんと子どもがこれを話題にしながら回答していただく事を想定しておりました。ただ、ご指摘いただいたように、特に小学生においては地域における活動といった時にイメージしにくいというのはその通りだなと思っておりますので、もう少し小学生がイメージしやすいものを補足していく必要があると考えております。</p>
木村会長	<p>家庭における回答ということです。●●委員いかがでしょうか。</p> <p>保護者と話し合うのは凄く大事なことだと思うので、そうなる各家庭の捉えがまちまちにならないようにしていくことが必要だと思います。</p>
●●委員	<p>小学校的な頭で考えてしまうので、もしかしたら中学校の方や皆さんが考えていることと違っているのかもしれないのですが、小学校の子達に今のことで分かりやすくして</p>

いかないと。例えば、平日は中学校で部活をやりますよ、土日に部活はありません。その時に、土日に地域で何か活動をするとしたら、何かやりますか？というような質問。中学校では土日は部活動をやりませんよっていう前提がはっきりしていれば、小学校の子達は土日に何かやりますか？と聞かれると、地域は分からないけどなんとなくこういうのをやってみたいかな、というのが答えられるかもしれないなど。今、小学校でも実は週5回という枠の中で土日もやったりしている状況ですので、これで聞かれると中学校になったらこうなるけどもどうですか？という聞き方になるのかなと。そうなれば小学校の子達は返答しやすい気がしますし、裏を返すと、これが大前提の進め方になるのかなというがあるので、その辺は考えていかなきゃならないと思いました。

木村会長

今の●●委員の大前提のところですけど、小5の子に対して、中学校になれば学校での部活は行われなくて回答して下さいという意味合いでよろしいでしょうか、事務局。アンケートの一番上の方には、本アンケートについては休日にこれまでの部活動がないものとして書いてくださいという言い方にはなっているのですけれども。

事務局

休日、土曜日、日曜日に関しては、学校での部活動は行わない事を前提としたものになります。

木村会長

ということは、その小5小6の子達は中学校になったときに、休日という意味ですね。

事務局

そうです、はい。

木村会長

●●委員よろしいでしょうか。

●●委員

はい、ある程度具体的な姿でわかると、小学校の子たちも答えられるかなというがあるので、そうすれば平日は学校の部活動があるけども、土日はないのだよと。そこでなにか地域でやるとしたら、参加したいものはありますかという感じだと、子どもたちはアンケートには答えられるという気がします。

●●委員

部活動の地域移行としてのアンケートなので、これだと社会教育だったり生涯教育だったり、土日に社会でこれだけの受け皿があるから活動しませんか、したいですかってというようなアンケートなので、なんかアンケートってやはり捉え方が違うと、実態把握するうえで、ぜんぜん正確な実態把握にならないと思います。

例えばバレーボールを例にとった時に、中学校でバレーボールをやっています、土日学校の部活は地域に移行されますよとなったときに、問4で「参加したいものは何ですか」とここで聞かれちゃうと、バレー以外のもの、じゃあバレーって選べば良いのかもしれないけど、複数回答可って書いてあったりすると、バレー以外の活動もできるのねってなると、これはあくまでも地域の受け皿としての活動で、全然部活動の延長線では

なくなってしまうのではないかな。

あくまでも自分の部活動が、土日は違うところに行って活動するんだよというアンケートなのか、いや学校の部活動以外に違う活動したいですかというアンケートなのか。これだと質問があることによって混乱しちゃっていると思うのです。説明を読めば、地域移行にかかるアンケートなのねってなるのだけど、でも選択肢がいっぱい問4であると、「あれ、部活動以外の活動もできるのかな」と、ここでまず混乱してしまうのかなと私は思います。

木村会長

問4の質問の趣旨ですね。バレーボールを例にとりましたけれども、平日バレーボールをやっている子が、休日柔道やる、卓球やるというような意味合いでの回答を想定に入れるかどうかということになるのですが、事務局お願いします。

事務局

先程の●●委員のご質問にも関連すると思っていたところですが、休日の活動を平日の学校部活動の延長、教育活動の一環として捉えるか、休日は学校とは別の活動として捉えていくかという部分なのですけども、部活動地域移行と謳っているところではあるのですが、まず趣旨として休日の子どもたちの様々なニーズに応じた活動の選択肢を拡げていくこと、従来の部活動にはなかった選択肢を含めて、子どもたちのニーズに応じた活動ができるようにといったものを想定した時に、これまでの学校の部活動の枠組みから、もう少し広げた形でのもので考えていきたいという想定をしていたところでありました。

アンケートについても、まず学校部活動の延長ということではなく、土日の様々な活動について、学校の部活と同じ種目を選ぶこともできるし、新しいものにチャレンジしてみることもできるということを前提としてアンケートを取ってはいかがかと考えているところなのですが、委員の皆さんからそのあたりをご意見いただければありがたいと思っております。

木村会長

●●委員、いかがでしょうか。

●●委員

そもそもがそういうことであればまた変わってきます。例えば、セッターの子が今度行ったところでは、いっぱいセッターが集まってレシーバーになるとか、だったらあまり行っても意味ない。私が中学生だったらそういうふうにイメージしてしまうかな。吹奏楽みたいなものであれば、トランペットという楽器をやっている子が地域の活動でもトランペットで、大所帯で何か違うことをやろうとかという幅はあると思うのですが、どうかなと思って。

自分がもし生徒だったら、分かって答えてもらえるかなというふうに思ってしまいます。じゃあどうしたらいいかというのは、ちょっと目指すところが違っていたので、いろんなニーズも知りたいなというアンケートであれば、項目を別にしないとダメかもしれません。今やっている部活動以外になにかやりたいスポーツはありますか、というよ

	<p>うな、もしも地域でやるとしたら、部活動と離れたところで何かやりたいものはありますかというような項目があれば、こういうこともしてみたいなとか。</p> <p>例えば、学校になかったから出来ない活動もあるので、本当はこの部活に入りたかったけど学校にはなかったから、と言っていよいよながら入っている子もいるかもしれないし、ちょっとその辺は分からないですけど。</p>
木村会長	<p>ありがとうございます。事務局では、問 4 につきましては、今の説明にもありましたように様々なニーズも調査として捉えるということでもよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
木村会長	<p>では、質問の趣旨は今の事務局の説明の通り様々なニーズとして捉えるということになりました。ほかに質問、意見等がありましたら。</p>
●●委員	<p>要望としては、地域移行のことを保護者に分かりやすく書いていただくというのが前提で、土日は学校は関与しないで地域のクラブにお願いするという前提が分かるように書いていただきたいです。そのうえで、保護者が参加させたいと思わないという方に、なんで参加させたいと思わないのかという理由を書いていただくような欄を作っていただきたいと思います。</p> <p>参加させたくないという意見の方が地域移行を進めるにあたって、有益な意見が拾えるのではないかなと思いますので、4 のところに書けばいいのではないかなというところはありますが、この 4 の中に問 1 の②で、②と答えた方、その他、ご意見があればという誘導をして、いろんな意見を吸い上げた方がいいのではないかなと思いました。全部が参加したいと思わないっていうところでバサッと切られてしまうようなアンケートなので、多様な意見を吸い上げてほしいなと思います。以上です。</p>
木村会長	<p>アンケートの中に、参加したいと思わないという所で、理由を聞く欄があったほうがいいのではないかなという提案です。参加したいとは思わないというのが問 3 の他にも保護者へのアンケートにもありますが。</p>
事務局	<p>子どものほうはちょっと難しいかもしれませんが。保護者のほうは答えられるのではないかなと思ったので。</p>
木村会長	<p>保護者の皆さんへの問 1 の②ということですね。このあたり、いかがでしょうか。アンケートの形式として、事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただければと思います。</p>

<p>木村会長</p> <p>●●委員</p>	<p>検討という事で。他にご意見・ご質問等ありましたら。</p> <p>先ほどの児童生徒に向けてのアンケートの間4のニーズの把握は、要は自分の学校の部活にはその種目はないから選べなくてやってないけれども、もしあるのだったらこれをやりたいなというところのニーズの掘り起こしと考えていいでしょうか。</p> <p>例えば、うちの学校だったらバスケットボールがないので、中学校に行く時点で違う学校に行くのですが、本当は中学校でもバスケットをやれるのならやりたいけど、他の中学校に行くのも嫌だからとりあえず今の学校に行くけど、本来やりたいのは今の学校にはないよという相談の把握と考えてもいいですか。</p> <p>一応想定していたのは、そのような考え方です。</p>
<p>事務局</p> <p>●●委員</p> <p>事務局</p>	<p>わかりました。であれば、なにか一言あると答えやすいかなと思います。</p> <p>様々な貴重なご意見ありがとうございます。今、委員の皆さまから出していただいた意見の中で、小学生でもイメージ出来るようにということだとか、土日にはまず学校はそのまま関与しない前提でのアンケートであることだとか、参加させたいとは思わないという理由について多様な意見を拾っていくことだとか、そういった点を踏まえながら事務局側のほうでアンケートを修正、検討させていただいて、会長に確認していただいた上で、アンケートの実施をすることを提案させていただきたいのですが、その点、お諮りします。</p>
<p>木村会長</p> <p>事務局</p>	<p>アンケートにつきまして、色々な要望等がありましたけども、それを踏まえてわかりやすい表現にして、実施に向けていきたいという事務局の案ですが、皆さんいかがでしょうか。回答期限が、7月31日と想定されていますので。段々とアンケートの配布に向けての作業に、事務局のほうでも期限が迫っていますが、いかがでしょうか。</p> <p>今の●●委員の方からも完全に切り離すというところで、大前提が崩れてしまうというお話もいただいたのですが、アンケートの一番後ろをご覧いただきたいと思います。教職員用にもアンケートをとる予定であります。土日は全く先生方が関知しないかという、実はそうでもありません。先生方についても、土日に指導することを希望する方については、兼職兼業という手続きをとって、先生という立場ではなくて、名称や関わり方・兼業のあり方は皆様にお諮りしたいと思っておりますが、希望する先生方については、これからも土日に地域スポーツ活動に関わるということも考えておりましたので、そこは付け足ささせていただきたいと思っております。よろしくお祈りします。</p>
<p>木村会長</p>	<p>今のお話は先生方も地域の一人ではあるということで、土日に地域の中の指導者として関わるのが十分に考えられるということですよ。</p>

事務局	<p>他、いかがでしょうか。特に異議がなければ、たくさんの委員の方々から述べていただいたことをアンケートの表現方法に反映させて、事務局でそこを直した上で、配布の手続きをとるということでよろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
木村会長	<p>ではそのように進めていくという了承を得たということにいたします。</p> <p>本日予定していた議事はここまでになります。「その他」として、委員の皆様、事務局で何かございますか。</p>
●●委員	<p>私は4、5日県外にいたので、今日ここに来て初めてこのアンケート、来る前に職場に寄ったら届いていて、それで見える時間がなくて、初めて中学校部活動地域移行についてというのをここで知って、それであれば話を聞きながら思ったことがあるのですが、会議を中断させるのも悪いなと思って発言しませんでしたけども。</p> <p>小学校の現状についてですね、クラブに移行したわけですが、それがどのようになっているか、それをある程度ここで我々が聞いて参考にして、ということもありかな。中学校で指導されていた外部コーチの方々が、結構辞めさせられたりしていると聞いていますので、その辺は教育委員会のほうでしっかり把握しているものか。そういうアンケート等を事前にとるべきではないのか。うまくいっているかどうか。それを踏まえて、中学校の地域移行を考えていかなければ、同じようなことを繰り返すのではないかと、私はこれを見て思いました。以上です。</p>
木村会長	<p>小学校の現状について、もしおわかりの範囲で仰っていただければ。●●先生、いかがでしょうか。</p>
●●委員	<p>まず全体のものですので私が把握しているものだけの情報ですので、これが一つというものではないということで聞いていただければと思います。</p> <p>まず一つは、やはり今の地域移行というか、部活動から保護者とか地域主体という形に大きく移行して5年くらいなのでしょう。今になってみると、やはりもう定着して指導者とか保護者の運営者がはっきりして続けているところはある程度しっかりとした形として続いているところもありますけれども、やはり指導者がどうしても見つからない、あるいは指導者の人をどうして良いか分からなくて、一生懸命探しながら、代わって代わってというところも結構あります。それから、運営者も保護者の方になるので、どうしても卒業してってしまうので、それが中々定着しないで不安定な形になって、子どもたちも上手くまとまりきらなかったりというのが様々見えているのも実際です。</p> <p>ですので、実際には部活動が地域移行になって、上手く地域の方を見つけてきて一つの組織として、愛好会としてやっているところもあれば、まだ形ができないというところもあります。それは指導者の問題であったり、指導者が見つからないという問題だっ</p>

たり、それから運営の方が代わっていくのが苦しいというのが実際です。

あとは現状としてやっぱり子どもたちの人数が少なくなってきているので、合同とかクラブチーム化、そういった形で、指導を何とかしていくというのに移行してきているという状態です。

クラブになると、やはり場所は借りなければならないし、移動してお金も掛かるし、保護者負担というのが先に出てくるので、今小学校は安定して出来上がってきている部分と、まだどうしていいのかなという感じになっている部分と合併して大きく作り上げているという状態かなと思っています。

すみません、自分の知っている範囲だけです。全体がどうかというのはちょっと。

●●委員

私が相談を受けたり把握している中では、これは全部の競技等ではないのですけれども、その当該地区ではなくて、校長先生に頼まれたりして、他の地区から来たりしてずっとその小学校で10年以上指導していて、それで生徒とは上手くいっていたのだけれども、6年生の保護者が会長になりますよね。それで1年ごとに変わりますよね。そうすると、その会長さんによって、自分が指導者よりも先に立ってやらなければならないというカー杯になって、それで逆に指導者と合わなければ指導者を如何にして辞めさせるかという提案をして、規約を作って保護者の何割が反対したら辞めさせるとか、そこまでやっている。またそうして辞めさせた、そういうような学校も、学校というかクラブですね、やっぱりあるように聞いています。

そのあたりは小学校の校長先生、それからPTA会長さんあたりも把握しているんですけども、あくまでもボランティアで他の地区から交通費をいただかないでやっていながら、最後はそういうやめ方をしたというか、そういう方も何人かいるのは私は知っています。そういうところは教育委員会のほうでしっかり把握して、次の段階のことを踏まえてやろうとしているのか、ただアンケートをとっても本来の小学校の現状をそこまで考えているのかという件についてちょっと考えるところがあります。

木村会長

ありがとうございました。今の発言からの決定ということにもっていくのは難しく思うんですが、現状の把握について事務局何かありましたらお願いいたします。個別の事案という事でなかなかすべてがあがってきているということではないと思いますが。

●●委員

私が言っていることは、個別の話ではなくて、部活動から地域移行でクラブに移行した時に、意外とスムーズにいったない点が多々あるみたいなので、その辺をある程度しっかり把握してから次の中学校の方もやっていかないと、同じケースがでてきますよということをお願いだけです。ですから予算がどうだとか、そういう●●さんがさっき話した以前の問題。それがやっぱりこの場で本当にしっかり話していかなきゃいけないところじゃないかなと思います。

今のようなお話も、アンケートを取るとさらにいろんな方の事例としてあがってくる

木村会長	<p>のかもしれないと思いますので、それを踏まえた上で策定をしていくことにしていきたいと思います。今の意見、小学校の現状を踏まえた上で中学校での地域移行というお話、貴重なご意見と考えたいと思います。</p> <p>他にもこういう点に注意していかなければいけないというお話がありましたら、その他です。はい。●●委員どうぞ。</p>
●●委員	<p>資料2の22ページのところの指導者の確保というところで、部活動指導員について3年前から配置されているということで、国の方からの手当とか県の方の手当とかあるようですけれど、これは次回でも結構ですけども、現状を知りたいと思っていました。</p> <p>いわゆる需要と供給、指導者が欲しいなという学校が20校あったら、8人分しか配置出来ないですよというものか、十分足りているものか、その辺を知りたいなと思っていました。</p> <p>それと、この部活動指導員のメリットとデメリットといいますか、こういうところが良くてこういうところが足りないという部分がありましたら知りたいなというところでした。次回で結構ですけども、教えていただけたらなと思っていました。私も言葉は分かるんですけども、現状を知りませんのでお願いしたいと思っていました。以上です。</p>
木村会長	<p>今の要望は、資料2の6ページに関するところですね。講師の現状という中に部活動指導員の現状について知りたいというところで、次回までをお願いしたいと思います。</p> <p>他、その他の中ではありませんでしょうか。無いようですので以上で議事審議は終了いたします。事務局は、本日の審議内容を元に次回に向けて準備をお願い致します。それでは事務局へお返しいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。本日は様々ご意見を頂戴しましたが、1回目なので、初めてお出しする資料があったりして、この言葉はどういう意味なんだろうとか色々あったと思います。今日は全体の概要を説明して、今回はアンケートを踏まえた形での実態把握、総論となっていくので、徐々に運営団体のあり方がどんなものなのかとか、今お話がありました部活動指導員と指導者の確保とか、そういう声も出てくると思いますので、その際には様々な御意見を頂戴できればありがたいと思っております。本日はありがとうございました。</p> <p>それでは、第2回八戸市地域スポーツ文化活動検討協議会の次回の日程でございます。資料4を見ていただきたいと思います。今回は、令和5年9月28日（木）14時30分から16時までを予定しております。場所はまだ未定となっておりますので、事務局の方からご案内を差し上げたいと思います。</p> <p>それでは、長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第1回八戸市地域スポーツ文化活動検討協議会を終わります。お疲れ様でした。</p>